

2013年3月期 第1四半期 決算説明資料



日本光電工業株式会社

銘柄コード:6849

2012年8月2日

Fighting Disease with Electronics

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2012/3 第1四半期	2013/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	24,952	27,775	11.3
国内売上高	20,520	22,784	11.0
海外売上高	4,431	4,991	12.6
営業利益	1,050	2,167	106.3
経常利益	1,035	1,853	79.0
四半期純利益	637	1,060	66.5

← 円換算目減り: 約△2億円(△4%)

← 粗利率: 2012/3 Q1→2013/3 Q1
50.4% → 52.1%

販管費率:
2012/3 Q1→2013/3 Q1
46.2% → 44.3%

平均レート	(2011/6)	(2012/6)
1ドル	82	81
1ユーロ	119	105

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 11.3%増

- ・国内：病院・診療所市場ともに好調。AEDの販売も好調だったことから、全ての商品群で伸長。
- ・海外：米国、中国での売上が大幅に伸び、米州、アジア州は二桁成長を確保。欧州は円高の影響等により減収。

営業利益：前年同期比 106.3%増

- ・増収に加えて、粗利率の改善により大幅増益。
- ・粗利率：自社品の販売促進や生産効率の向上が寄与。
- ・販管費：販売促進活動により経費が増加するも、販管費率は改善。

3) 第2四半期(累計)業績予想の修正

(単位:百万円)

	2013/3 第2四半期(累計)予想		増減額	増減率 (%)
	期初(前回発表)	8月2日修正		
売上高	60,000	60,000	0	0.0
営業利益	4,300	5,000	700	16.3
経常利益	4,300	4,700	400	9.3
当期純利益	2,600	2,800	200	7.7

【売上高】 概ね計画通り推移していることから、前回発表予想に変更なし。

【利益】・自社品の販売促進や生産効率の向上により粗利率が改善し、第1四半期の実績が当初の想定を上回る。

・第1四半期の実績および直近の動向を踏まえ、**上方修正**。

【通期見通し】

円高や欧州の財政不安等、先行き不透明な経済環境を鑑み、前回発表予想に変更なし。

4)トピックス

相次ぎ新商品を投入、販売に注力

生体計測機器

- ・256チャンネル脳波
アンプ 電極接続箱
「JE-120A」

→3月海外、6月国内発売



- ・携帯用睡眠時無呼吸検査
装置「SAS-3200」

→1月国内発売



- ・睡眠ポリグラフィ装置
「PSG-1100」

→3月国内発売、
4月海外発売



生体情報モニタ

- ・ベッドサイドモニタ
(救急車載用)
「BSM-3000シリーズ」

→6月国内発売、
海外発売済



- ・CO₂センサキット
酸素マスク

小児用「YG-232T」、
幼児用「YG-242T」

→7月国内発売



治療機器

- ・イラスト表示付「AED-2150」
心電図表示付「AED-2151」
セミオートモード搭載「AED-2152」
→1月海外発売(AED-2152のみ)、
4月国内発売



- ・CO₂モニタ(人工呼吸器用)
「IAS-V110」
→6月国内発売



中国子会社3社の統合が完了(2012年7月)

開発、生産、販売を統合し、事業展開を加速化・効率化

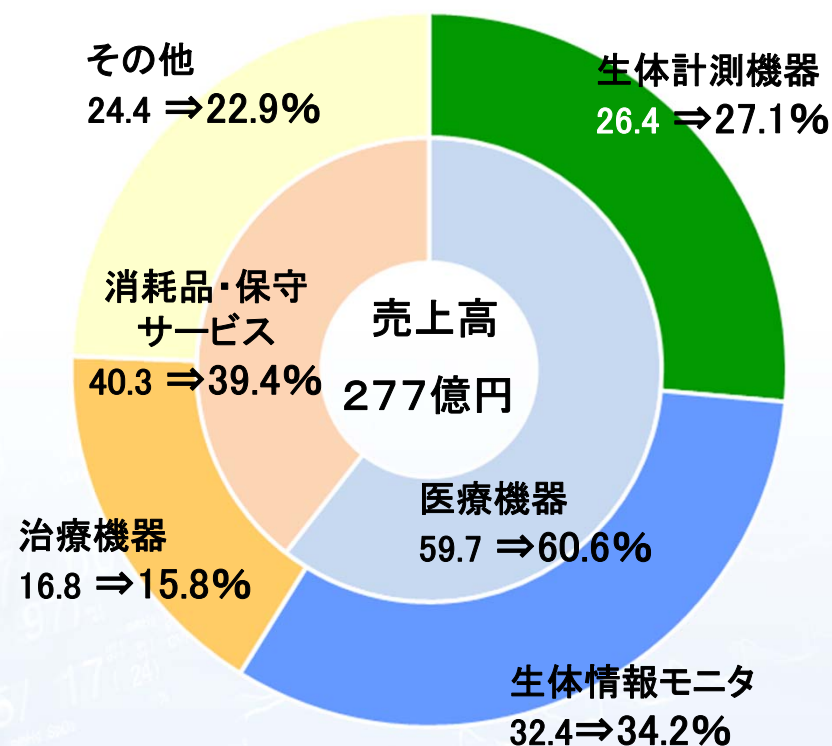
5) 商品群別売上高

(単位: 百万円)

	2012/3 第1四半期	2013/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,594	7,518	14.0
生体情報モニタ	8,091	9,503	17.5
治療機器	4,180	4,393	5.1
その他	6,086	6,360	4.5
売上高合計	24,952	27,775	11.3
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	10,054	10,951	8.9

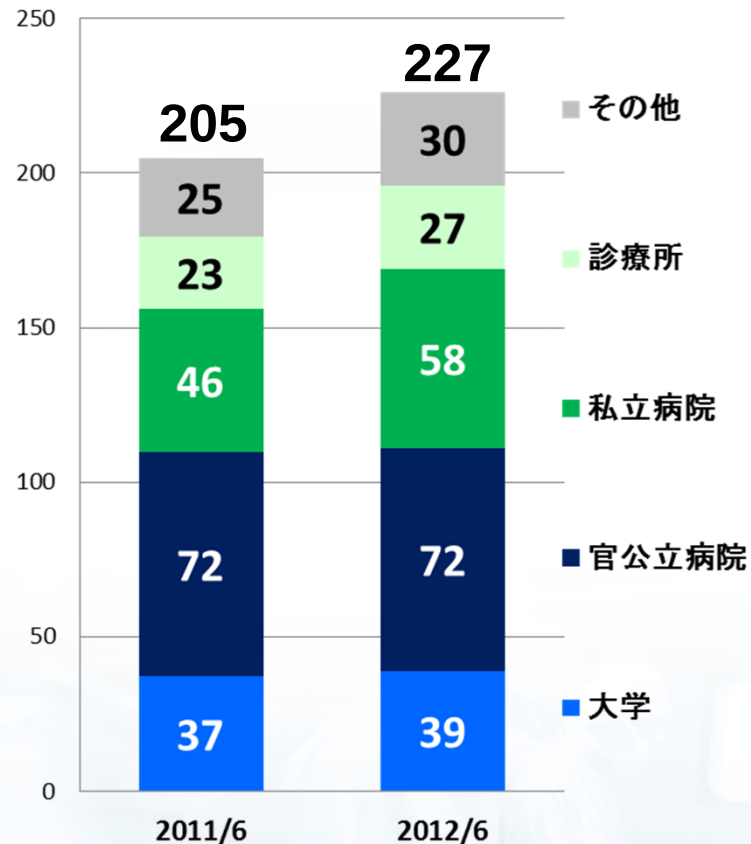
商品群別売上構成比

(2011/6⇒2012/6)



6) 国内売上高

(億円) 【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2012/3 第1四半期	2013/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	5,370	6,055	12.8
生体情報モニタ	6,071	7,151	17.8
治療機器	3,638	3,917	7.7
その他	5,440	5,659	4.0
売上高合計	20,520	22,784	11.0

【市場別】 私立病院、診療所、PAD市場を中心に好調に推移。

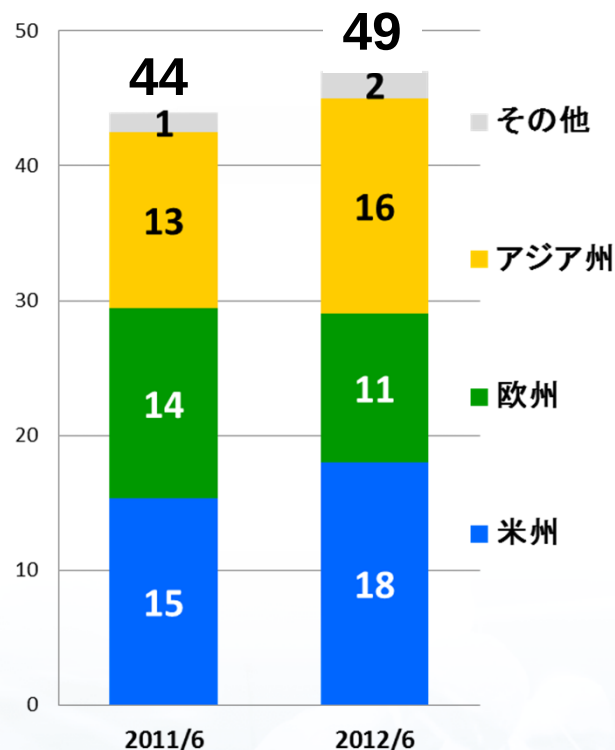
【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群、心電計系群、心臓カテーテル検査装置、診断情報システムが好調に推移。

生体情報モニタ: ベッドサイドモニタやセンサ類などの消耗品が好調に推移。

治療機器: AEDリモート監視システムが好評。新商品効果もあり、AEDの販売が好調に推移。

7) 海外売上高

(億円) 【地域別売上高】



【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2012/3 第1四半期	2013/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,223	1,463	19.6
生体情報モニタ	2,019	2,352	16.5
治療機器	542	475	△ 12.4
その他	645	700	8.5
売上高合計	4,431	4,991	12.6

円換算目減り: 約△2億円 (△4%)

- 【地域別】 米州: 米国で大きく売上を伸ばしたほか、中南米も好調に推移。
 欧州: 円高による為替換算上の目減りに加え、前年同期のドイツ、トルコにおける大幅増収の反動もあり、低調に推移。
 アジア州: 中国で大きく売上を伸ばしたほか、インドも好調に推移。
- 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群が米州、アジア州で好調だったほか、心電計群がアジア州で好調に推移。
 生体情報モニタ: 米州で大幅伸長。全ての州で前年同期実績を上回る。
 治療機器: メトラン社製の人工呼吸器が低調。医科向け除細動器も欧州で前年同期実績を下回る。
 その他: 中国で血球計数器、試薬のセット販売が好調。

8) 減価償却費と研究開発費

(単位: 百万円)

	2012/3 第1四半期	2013/3 第1四半期	増減額	2012/3 実績	2013/3 計画
減 価 償 却 費	614	624	9	2,849	3,200
研 究 開 発 費	1,223	1,213	△ 10	5,583	5,800

【2013/3期計画】

主な設備投資: 新製品の「型」投資、販促用製品、工場生産設備(4億円)、
ERPシステム増強(3億円)

9) 通期業績見通し

(単位:百万円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率 (%)
売上高	120,718	130,000	7.7
国内売上高	99,706	105,000	5.3
海外売上高	21,011	25,000	19.0
営業利益	12,027	13,000	8.1
経常利益	12,193	13,000	6.6
当期純利益	7,621	7,900	3.7

海外売上高比率

17.4%

19.2%

平均レート

1ドル	79円	80円
1ユーロ	110円	100円

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率 (%)
生 体 計 測 機 器	30,676	32,650	6.4
生 体 情 報 モ ニ タ	39,352	43,550	10.7
治 療 機 器	20,288	21,550	6.2
そ の 他	30,400	32,250	6.1
売 上 高 合 計	120,718	130,000	7.7
(ご参考)			
消 耗 品 ・ 保 守 サービス	44,525	47,550	6.8

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室

【連絡先】TEL03-5996-8003